

## 学習指導案参考例（１）－総合的な学習の時間における活用について－

「自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる」という総合的な学習の時間のねらいに則し、映像から得た知識や情報をもとに、自分ならどうするのかを考え、率先して身を守る意識を育むことを期待しています。

単元名

### 発達した積乱雲による災害・事故防止啓発映像DVD 「急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう！」を見て考える 気象災害の脅威と防災意識の高揚 －指導案－（45分授業用）

#### ①単元設定の理由

児童の屋外活動が増える春から夏にかけては、積乱雲が急発達しやすい時期でもある。積乱雲がもたらす「急な大雨」「落雷」「竜巻」などの激しい自然現象による怪我や死亡事故に児童が巻き込まれるのを防ぐには、天気急変の兆しにいち早く気づき、身の安全を確保するための正しい知識と対処方法を学ぶことが重要であることから、本単元を設定する。

#### ②単元の目標

- ◆ 「急な大雨」「落雷」「竜巻」の予兆に早く気づき、油断せずに対処する意識を高める。
- ◆ 上記の自然現象に対してそれぞれに、身の安全を確保するための適切な方法を身に付ける。
- ◆ 上記の自然現象の脅威と身の守り方について家族と意識の共有を図り、気象への関心を高める。

#### ③展開

映像は、児童が次々危険な目にあう「これはあぶない！被害編」（6分）と、どうしたら被害にあわずに済むのかを考察する「これなら安全！解説編」（12分）に分かれているため、前半を見た時点で児童が自力で何が問題なのか考える時間を設ける。

学習活動	支援事項（○）・評価基準（☆）
1. 「急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう！」「これはあぶない！被害編」を視聴する。	○「急な大雨」「落雷」「竜巻」による災害と事故の恐ろしさを知る。 ☆集中して視聴することができたか。
2. 映像の子どもたちは、なぜ被害にあってしまったのか、どうすれば被害にあわずに済むのか、児童が話し合い、意見を出す。	○「急な大雨」「落雷」「竜巻」から身を守る方法を主体的に考える。 ☆映像の趣旨に沿って自分の考えを持つことができたか。
3. 「急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう！」「これなら安全！解説編」を視聴する。	○「急な大雨」「落雷」「竜巻」から身を守る方法と積乱雲が近づく兆し、積乱雲の特徴などを正しく理解する。 ☆上記の知識をしっかりと身に付けることができたか。
4. 児童向け「気象防災ワークシート」に記入する。その後、補足説明を行う。	○設問に答えることで映像の内容を振り返り、知識の定着を図る。 ☆自ら判断し、率先して身を守る意識を高められたか。
5. 授業で学んだことをもとに、家族と話し合いをするようにする。	○家族と意識の共有を図る。 ☆積乱雲がもたらす気象災害を防ぐ意識を、家族と共有することの大切さが理解できたか。

## 学習指導案参考例（２）－理科における活用について－

４年生の「天気と気温」、５年生の「天気の変化」「流水の働き」の授業に関連づけて映像を視聴し、発達した積乱雲がもたらす「急な大雨」「落雷」「竜巻」などの自然事象への関心と理解を深めます。また、映像から得た知識や情報をもとに、自分ならどうするのかを考え、率先して身を守る意識を育むことを期待しています。

### 単元名

#### 発達した積乱雲による災害・事故防止啓発映像DVD 「急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう！」を見て考える 気象災害の脅威と防災意識の高揚 －指導案－（４５分授業×２回）

### ①題材設定の理由

児童の屋外活動が増える春から夏にかけては、積乱雲が急発達しやすい時期でもある。積乱雲がもたらす「急な大雨」「落雷」「竜巻」などの激しい自然現象による怪我や死亡事故に児童が巻き込まれるのを防ぐには、天気急変の兆しにいち早く気づき、身の安全を確保するための正しい知識と対処方法を学ぶことが重要であることから、本単元を設定する。

また、これらの自然現象は、理科で学ぶ「天気と気温」「天気の変化」「流水の働き」に関連深い内容であることから、理科の授業の発展的な学習として取り上げることは、より深い自然事象への関心と理解を養うことにつながり、高い学習効果が得られるものとする。

### ②単元の目標

- ◆ 天気の変化には、予測可能な規則性のある変化以外に、短時間で急激に変化する予測が難しい変化もあることを認識する。
- ◆ 「急な大雨」「落雷」「竜巻」を発生させる発達した積乱雲が近づく兆しを学び、早く気づき、油断せずに対処する意識を高める。
- ◆ 上記の自然現象に対してそれぞれに、身の安全を確保するための適切な方法を身に付ける。
- ◆ 「急な大雨」「落雷」「竜巻」による災害が自分にも起こりうると認識し、日頃から注意する心構えを持つ。
- ◆ 上記の自然現象の脅威と身の守り方について家族と意識の共有を図り、気象への関心を高める。

### ③展開

映像は、児童が次々と危険な目にあう「これはあぶない！被害編」（６分）と、どうしたら被害にあわずに済むのかを考察する「これなら安全！解説編」（１２分）に分かれている。

そこで、１回目の授業では「これはあぶない！被害編」を視聴して「急な大雨」「落雷」「竜巻」がもたらす危険について児童が課題を持ち、どうすればよいかを自分なりに考えてみることにする。２回目の授業では、「これなら安全！解説編」を視聴し、１回目の授業で考えた自分の意見を検証しながら正しい知識を身に付ける。その後、ワークシートを活用して映像から得た知識の定着を図り、「急な大雨」「落雷」「竜巻」による災害から身を守るための、日頃からの心構えを持つ（次ページ展開表参照）。

**【第1回】**

学習活動	支援事項（○）・評価基準（☆）
1. 導入として、雷雨などの話から本時の学習課題を確認する。	○理科の学習で学んだ、積乱雲（かみなり雲）について振り返り、どのような事象が起きる可能性があるかを知る。 ☆積乱雲と「急な大雨」「落雷」「竜巻」を結びつけてとらえることができたか。
2. 「急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう！」「これはあぶない！被害編」を視聴する。	○「急な大雨」「落雷」「竜巻」による災害と事故の恐ろしさを知る。 ☆集中して視聴することができたか。
3. 映像の子どもたちは、なぜ危険な目にあってしまったのか、どうすれば災害にあわずに済むのか、児童が話し合い、意見を出す。	○「急な大雨」「落雷」「竜巻」から身を守る方法を主体的に考える。 ☆映像の趣旨に沿って自分の考えを持つことができたか。

**【第2回】**

学習活動	支援事項（○）・評価基準（☆）
1. 「急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう！」「これなら安全！解説編」を視聴する。	○「急な大雨」「落雷」「竜巻」から身を守る方法と積乱雲が近づく兆し、積乱雲の特徴などを正しく理解する。 ☆集中して視聴することができたか。
2. 児童向け「気象防災ワークシート」P1～3に記入し、答え合わせをする。その後、補足説明を行う。	○ワークシートに答えることで映像の内容を振り返り、知識の定着を図る。 ☆発達した積乱雲による気象災害から身を守る方法と、積乱雲が近づく兆し、積乱雲の特徴をしっかりと身に付けることができたか。
3. 児童向け「気象防災ワークシート」P7のまとめを記入し、日頃からのようなことに気をつければよいのか、児童が話し合い、意見を出す。	○「急な大雨」「落雷」「竜巻」に対して注意することや、日頃からの心構えを自分で考える。 ☆日頃からの注意を正しく理解し、積乱雲が近づく兆しに気づいたら自分で考え、率先して身を守る意識を高められたか。
4. 授業で学んだことをもとに、家族と話し合いをするようにする。	○家族と意識の共有を図る。 ☆積乱雲がもたらす気象災害を防ぐ意識を、家族と共有することの大切さが理解できたか。